

# 緑のカーテン取り組み情報



お名前(ニックネーム)	笛吹市立石和西小学校 様 (笛吹市)		
育てた植物の種類	真夏の青いスイートピー、琉球朝顔、パッションフルーツ		
設置場所	2階西側ベランダ(3年教室)、3階ベランダ全部(なかよし学級、5,6年教室)		
カーテンの大きさ	高さ: 約 4.2 m, 幅: 約 40 m	取り組み年数	4年目

## 緑のカーテンの効果

緑のカーテンがあるベランダとないベランダでは、午前9時で25 と26、午前11時で27.5 と29 と温度差がみられました。日によっては、28 と32 と6 も温度差がある日もありました。電気代がどのくらい削減できたのかは算定していませんが、緑のカーテンがあるベランダの日陰は涼しくて過ごしやすかったです。

真夏の青いスイートピーが満開の時は見事で、紫色の花が揺れている様子はとても愛らしく、見た目の涼しさにも効果がありました。

## 育てる際の工夫・苦労

【プランターの数】 各クラス5プランター。1プランターにつき2株を定植。

【苗の選択】 今年もプランター栽培でも繁茂しやすい「真夏の青いスイートピー」と「琉球朝顔」、そして新しい試みとして「パッションフルーツ」を栽培しました。5月下旬の委員会でプランターへ定植して、6月の第1週にベランダに設置しました。

【土づくり】 深型プランター(600)に、古い培養土1/4、腐葉土4つかみ、赤玉土3cm厚さ分をよく混ぜて、その上に新しい培養土を半分のせるます。

【ネット】 きゅうり用ネット(4.2m×18mを2階に1つ、3階に2つ)を園芸用テープで張り、サイドは竹竿に結んで立てかけます。途中は壁に設置してあるフックで止めます。

【毎朝の水やり】 栽培委員会が全校集会等で呼びかけをして、全校で育てる意識を喚起しました。特に毎朝の水やりを欠かさないことをお願いしました。

【夏休みの水やり】 昨年度からの取り組みで、栽培委員会で水やりボランティアを呼びかけ、子ども主体で水やりを行いました。夏休みの学習会やプール・図書館の開設日の際に、3年生以上の児童延べ150名が協力してくれました。

【成長点のカット・つるしばり】 植えてから間もない頃に成長点をカットして分けさせました。伸びてきたつるは、横の方向に、こまめにネットへ這わすようにしました。

【増し土・追肥】 増し土は3週間に1回、追肥は2週間に1回行いました。また、根を張らせるためにメデールを散布しました。

【農薬】 植え始めの頃に、アブラムシ対策としてオルトランを1度散布しました。

### 感想・楽しみ方など

ベランダでの緑のカーテンの取り組みは、今年で4年目です。児童総会で子ども達から「今年は、どんな緑のカーテンを育てるのですか？」と質問がでるくらい関心は高く、取り組みが定着してきています。

今年度も昨年度と同じ植物を栽培しましたが、6年生のエリアはパッションフルーツに取り組みました。真夏の青いスイートピーの生育は良好でしたが、パッションフルーツは定植時の低温と長雨で生長がかなり遅れてしまいました。琉球朝顔は、追肥のタイミングや成長点のカットが難しく、繁茂させるのに苦労しました。

また、今年度は日照不足で全体的に生育が不良でしたが、プランター栽培でベランダ全体に緑のカーテンを育てることができました。それは、クラスごとに水やりなどの世話を任せたと、栽培委員会を中心にして緑のカーテンを設置していないクラスの子も達も栽培に協力してくれたからだと思います。「みんなで育てよう」という意識が高まり、多くの子ども達が取り組みに参加してくれました。

カーテンの栽培を通して、植物の生長の様子やカーテンに来る昆虫を間近で感じながら、生き物に興味を持ったり、愛おしく思ったりすること、そして、毎日の水やり等の世話を通じて生き物を育てる責任、働くことの楽しさを感じる子ども達が増えたように思います。